

長崎県の愛護団体・アダプト団体の受賞者を紹介します！

各地の受賞者をご紹介します！

愛護団体・アダプト団体の中から、活動が特に顕著な団体に対して各地区で表彰を行っています。

雲仙市

〈団体名〉
千々石川を守る会



〈代表者〉
中村 三郎さん

〈主な活動場所〉
雲仙市千々石地区

「千々石川全域や千々石海岸の清掃、国道57号沿いに花壇を設置し、手入れをしています。自治会や老人会、小中学生など、地域ぐるみで参加してくれています。参加者には高齢者も多く、国道沿いで花壇の手入れ作業では交通事故に気を付けています。今後も活動を継続していくため、ボランティアですが、少しでも参加してくれる人が増えることを望んでいます」。

壱岐市

〈団体名〉
NPO法人 一枝國研究会



〈代表者〉
鶴瀬 守さん

〈主な活動場所〉
壱岐市芦辺町地区

「名所、遺跡が多数存在する壱岐島内。中でも原の辻遺跡内を流れる幡鉾川流域、原の辻ガイダンス周辺の除草清掃を年3~4回実施。当初は研究会の会員のみでしたが、現在はボランティア団体『原の辻サポート』の皆さんのが参加してくれることも。夏場の熱中症など健康管理に気を付けて、真面目にコツコツと継続していきたいと思っています」。

対馬市

〈団体名〉
佐須奈地区 あい花の会



〈代表者〉
渡辺 真子さん

〈主な活動場所〉
対馬市上県町佐須奈地区

「平成20年から花を入れたプランターを国道382号沿いに設置。佐須奈地区は人口や店舗が減少してきたので、花を置くことで町が明るくなればと思ったことが結成のきっかけ。花を植えた後の水やりが大切。夏場は毎日水をやっています。この活動を続けていくため、1人でも多くの人に参加してもらいたいと思っています」。

島原市

〈団体名〉
NPO法人 芝桜公園をつくる会事務局



〈代表者〉
松本 良一さん

〈主な活動場所〉
島原市上折橋地区

「雲仙普賢岳災害で、全国から多くの支援を受けました。そこで復興をアピールし、災害後に激減した観光客を呼び戻したいとの思いでスタートしました。面積が広く、作業が追いつかないこともあります。毎回100人前後の会員登録したボランティアが作業してくれています。春の芝桜、秋の秋桜と年間を通して楽しめる公園を目指しています」。

新上五島町

〈団体名〉
県立上五島高校



〈代表者〉
生徒会指導部主任 小森 修一さん

〈主な活動場所〉
新上五島町浦桑郷地区

「毎週木曜に学校周辺、年に2~3回、蛤浜の海岸清掃を行っています。海岸はゴミの量が多いため、ゴミ回収後の分別に苦労することも。1年生の時は分別に戸惑っている生徒もいましたが、2年生、3年生になると、清掃活動を楽しむ表情が見られるようになりました。約20年にわたる地域貢献運動なので、今後も受け継いで行きたいと思います」。

対馬市

〈団体名〉
佐護区青年部 佐護愛護会



〈代表者〉
春日龜 清さん

〈主な活動場所〉
対馬市上県町佐護地区

「佐護区の中に青年部を設立。地区の若者の一体化を目指して活動を開始しました。現在は6月に行われる地域の祭りへの協力や、8月に行われる佐護川、湊浜の清掃、2~3月に行う野焼きの協力などを行っています。清掃活動の参加人数の確保は大変ですが、年々参加者が増えつつあります。今後も現在の活動を継続していきたいです」。

愛護団体、アダプト団体の登録、支援制度について

県が管理する河川・海岸・道路・港湾・漁港・都市公園・砂防公園などの清掃・美化活動に取り組む団体を「愛護団体」「アダプト団体」として登録し、その活動に対して支援をおこなっています。

ゴミ袋、軍手、飲料品、草刈機の燃料などが支給されます！

登録団体の要件

県が管理する施設等の清掃・美化活動に取り組む意思がある団体

(例) NPO、自治会、老人会、婦人会、小中高等学校、企業、ボランティア団体 等

① 構成人員が概ね5名以上の団体

② 活動箇所は1ヶ所に限定しない

※活動箇所が複数(河川、道路等)に及ぶ団体、市町管理区域も含めて活動箇所とする団体も該当します。

③ 年間の活動回数は、自由(最低1回以上活動)

④ 活動範囲は団体で設定

愛護団体とは？

① 構成人員が概ね10名以上の団体

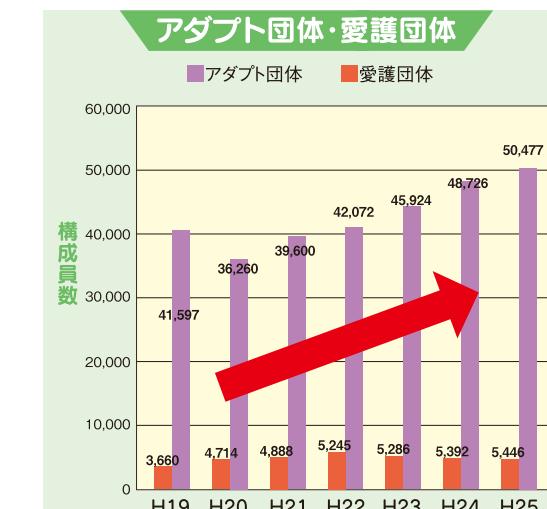
② 活動箇所は1ヶ所に限定

③ 年間4回以上の活動が実施できて、2年間以上活動が見込める団体

※申込書に記載した年間活動計画に基づいて、年間4回以上の清掃・美化活動を行います。
(日時等は原則として各団体が自ら決定します)

アダプト団体とは？

活動実績



地域で活動されている方が増えています。

各地区の振興局建設部管理担当課または土木維持管理事務所

問合せ

県民参加の地域づくり | 検索